

越嶺会報

令和元年（2019年）12月1日

第87号

発行 越嶺会本部

〒930-8555（富山市五福3190）

富山大学経済学部内

☎（076）445-6411（ダイヤルイン）

Fax（076）445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ

越嶺会

検索



総合教育研究棟(工学系)



総合教育研究棟（工学系）と右奥・都市デザイン学部実験実習棟



都市デザイン学部実験実習棟

目次

母校だより	2
教員の異動	
富山大学展の開催	
経済学部資料室だより	
本部だより	3
総会報告、役員一覧、寄付金御礼	
決算・予算書、	
支部報告	6
関東、関西、東海、石川、福井	
ゴルフ大会	
ゼミOB会 吉原節夫先生、山口素光先生	13

ご冥福を祈ります	
追悼 高坂正明元副会長	15
中尾哲雄・越嶺会最高顧問	
会員の訃報	15
第18回全国OB親善ゴルフ大会	16
同窓会連合会の行事報告	16
ゴルフ大会、総会、ホームカミングデー	
会員広場	18
富山県のグローバル人材の必要性	
富山大学基金だより	19
住所変更をお知らせください。	20

母校だより

教員の異動

訃報

中藤康俊先生

二〇一九(令和元)年五月十三日
逝去されました。享年七九歳。
経済地理学担当

一九八〇(昭五五)年四月一日、
一九九九(平十一)年三月三十一日
在任。岡山大学名誉教授

定年退職

(二〇一九年九月三〇日付)

立石孝夫教授(国際取引法)

二〇〇三年四月一日赴任

在籍十六年六月。

昇任 (二〇一九年十月一日付)

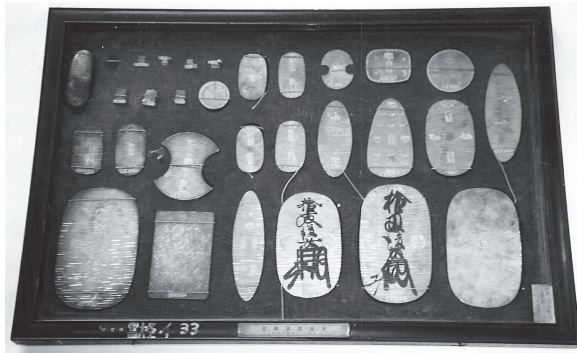
両角良子教授(社会保障政策)

中村真由美教授(社会学)

富山大学監事に、長津輝彦氏(学部三四回)が就任。任期は二〇一九年九月一日から二〇二三年八月三十一日までの四年間。前職は富山銀行取締役経営管理部長。

『富山大学展』開催

新制大学設置七十周年をテーマに、「蔵書印と貴重資料でたどる富山大学のあゆみ」と題して、十月二日から二十日まで開催された。



安永二年(一七七三)に開校した富山藩校「広徳館」蔵書は明治元年九月に焼失したが、その後「富山学校」として再建され、蒐集された本・出版物は師範学校に引き継がれて現在富山大学附属図書館蔵書となっている。
また、高岡高商商品陳列所の金

貨・銀貨(大判小判、加賀花降切銀など)、皇朝十二銭、藩札もガラスケースの中に並べられ、見学者の興味を引いていた。なお、この大判小判は教材用に作成された物。「高岡高等商業学校図書課印」のあるヴィーザー文庫からは一冊が陳列された。シュンペーターが恩師ベーム・バヴェルクの小伝抜刷を、ベーム・バヴェルクとは義兄弟で共にカール・メンガーに師事したヴィーザーに献呈した文献で、献辞が書かれたものである。

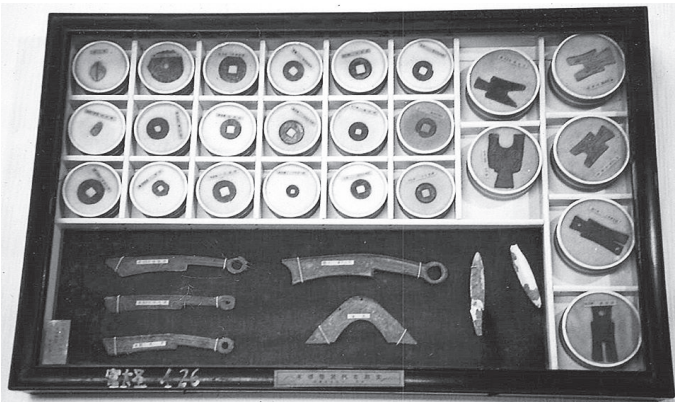


経済学部資料室だより

旧高岡高商の「商品陳列所」所蔵貨幣標本について

経済学部特別史料室には、富山大学展に出展した金貨等のほか、上海で買い付けたとみられる中国古代及び歴代貨幣や欧米諸国・植民地等の外国貨幣が多数ある。

また、明治政府「新紙幣」、国立銀行紙幣、日本銀行券などが我が国貨幣制度の変遷を示す標本も所蔵している。



本部だより

令和元年度 越嶺会総会報告

日時 二〇一九年五月二九日(水)

午後六時～九時

会場 カナルパークホテル富山

開会にあたり、物故者のご冥福を祈り、黙祷。



福井学部長

橋本会長

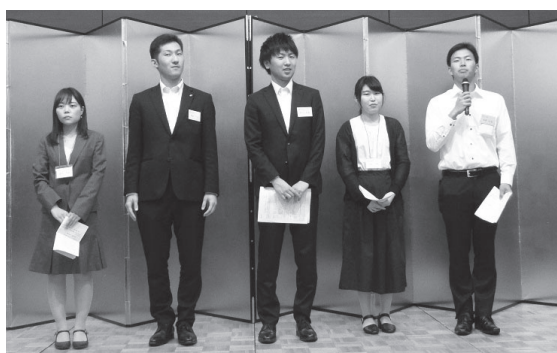
橋本洋二 会長の挨拶の後、来賓の挨拶として、福井修経済学部長、武山良三理事、山良三理事、副学長(地域貢献担当)から、学部や大学の現状、課題について挨拶があった。重原佐千子さん(学部五四回)の司会で進行した。

寄付金御礼

五千元 学部十六回 伊藤實様

会長指名で堀田正之副会長を議長に議事に入り、事務局より決算小橋監事より監査報告があり、拍手で承認された。次いで今年度の事業計画、予算案の提案があり異議無く承認された。役員改選では橋本会長を再選し監事を含め他の役員は会長一任とした。再選された橋本会長が、五年後の経済学部創立一〇〇周年にあたって記念事業を学部と連携して実施したいと挨拶した。

令和元年度春の叙勲で瑞宝小綬章を受章された雨宮洋司さん(院一回)と、斉藤俊明さん(学部十九回)を紹介しお祝いした。



新入会員自己紹介

会場を移り懇親会とし、中尾哲雄最高顧問の発声で地酒「黒部峡」で乾杯し開宴した。食品ロスを少なくする3010運動に協賛し三〇分は各卓で歓談することとした。

歓談の後、お開き間近となった頃、新卒参加者がステージに上がり、自己紹介し「ふるさと」のリードをしてくれた。司会の重原さんの誘い方がよかったか、いったっ



「ふるさと」合唱

て自然にしかもよく通る声で話し歌ってくれた。四番五番は作詞者の中尾さんが首唱、会場も合唱し盛り上がった。

出席者

経済学部長 福井 修

経済学部評議員 森岡 裕

経済学部教授 鈴木 基史

富山大学理事・副学長

(地域貢献担当) 武山 良三

富山大学副学長

(学生生活担当) 中村 和之

五回 島倉 敏夫、福田 明

七回 宮崎 甚一

七回 斉藤 洋子、塩崎 利平

八回 塚田 隆

十回 中尾 哲雄

十二回 小杉 修

十四回 小橋 啓一

十六回 水野 俊雄、四津井宏至

十七回 久郷 隆行、小西 由郎

十八回 上埜 進

十九回 遠藤 敏之

二〇回 竹田 勝

二一回 寺林 敏

二二回 釜谷 春雄、橋本 洋二

二二回 米原 俊孝

二二回 梅本 清一、杉森 聡

二三回 鳥居 由美子

二六回 堀田 正之

二七回 小林 武人、吉野 哲哉

常任幹事	福田哲郎	学部18回	常任幹事	山田勉	学部34回
常任幹事	(関東越嶺会長)		常任幹事	浅岡弘彦	学部35回
常任幹事	三宅博	学部22回	常任幹事	杉本正人	学部36回
常任幹事	(関西支部長)		常任幹事	大波加肇	学部38回
常任幹事	中村昌弘	学部22回	常任幹事(新)	高木雅弘	学部38回
常任幹事	(東海支部長)		常任幹事	竹田達矢	学部38回
常任幹事	奥清一	学部19回	常任幹事	殿村幸子	学部38回
常任幹事	(東北支部長)		常任幹事	二口洋	学部38回
常任幹事	舟木幸雄	学部20回	常任幹事(新)	赤川浩一	学部40回
常任幹事	(福井支部長)		常任幹事	手崎裕之	学部43回
常任幹事	四津井宏至	学部14回	常任幹事	沖よし子	学部49回
常任幹事	遠藤敏之	学部18回	常任幹事	園部佑樹	学部59回
常任幹事	竹田勝	学部19回	常任幹事	石塚数之	学部61回
常任幹事	小竹茂樹	学部21回	常任幹事	稲垣喜夫	短大2回
常任幹事	澤合文雄	学部21回	常任幹事	高田政公	短大3回
常任幹事・事務局長	米原俊孝	学部21回	常任幹事	浦田竹昭	短大16回
常任幹事	晒谷和子	学部22回	監事	山崎宗良	短大24回
常任幹事	増岡伸一	学部24回	監事(新)	釜谷春雄	学部21回
常任幹事	布目大剛	学部25回	特別参与(元会長)		
常任幹事	小林武人	学部27回	特別参与(元会長)		
常任幹事	吉野哲哉	学部27回	特別参与(元会長)		
常任幹事	碓井光一	学部28回	特別参与(元会長)		
常任幹事	鶴瀬初弘	学部29回	特別参与(元会長)		
常任幹事	福井直樹	学部29回	特別参与(元会長)		
常任幹事(新)	宮村樹	学部29回	特別参与(元会長)		
常任幹事	桑原幹也	学部30回	特別参与(元会長)		
常任幹事(新)	恒川哲二	学部30回	特別参与(元会長)		
常任幹事	舟崎友晶	学部31回	特別参与(元会長)		
常任幹事	竹野博和	学部32回	特別参与(元会長)		
常任幹事	福田直之	学部33回	特別参与(元会長)		
常任幹事	木村温子	学部34回	特別参与(元会長)		
常任幹事	長津輝彦	学部34回	特別参与(元会長)		
常任幹事	丸杉輝	学部34回	特別参与(元会長)		

越嶺会 決算表(平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日)

1.一般会計

単位：円

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	備 考
前 年 度 繰 越 金	95,401	越 嶺 会 基 金 へ 繰 入	0	
入 会 金 ・ 終 身 会 費	5,355,000	事 務 費	305,829	
総 会 等 懇 親 会 費	870,000	通 信 費	2,106,954	会報84、85号発行
会 報 発 行 協 力 金	925,000	印 刷 費	1,253,070	会報84、85号発行
利 息 収 入	40,000	手 数 料	82,034	郵便振替
名 簿 代 収 入	60,000	旅 費	136,000	支部総会出席旅費
寄 付 金	55,000	総 会 費	583,800	2018.5.29総会
越 嶺 会 基 金 よ り	500,000	人 件 費	1,441,962	専任事務局員給与等
		会 議 費	382,258	
		慶 弔 費	3,552	
		卒 業 祝 賀 会 経 費	1,261,332	H31.3 A N A ホ テ ル
		学 部 助 成 費	100,000	
		同窓会連合会分担金	84,200	5万＋29年度新入会員数×100円
		支 部 助 成 金	61,000	若手会員優待分補填
		名簿代未収金会計へ	60,000	名簿会計へ振替
		予 備 費	13,000	
		翌 年 度 繰 越 金	25,410	
合 計	7,900,401	合 計	7,900,401	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額
前 年 度 繰 越 金	81,154	事 業 費	220,000
利 息 収 入	20,149	予 備 費	0
越嶺奨学基金より	200,000	翌 年 度 繰 越 金	81,303
合 計	301,303	合 計	301,303

3.基金

基 金 名	H30年 4 月 1 日	H31年3月31日
越 嶺 会 基 金	24,900,000	24,400,000
越嶺奨学基金	29,600,000	29,400,000
合 計	54,500,000	53,800,000

1. 第16回北東アジア学術ネットワーク
国際カンファレンス開催助成 5万円
2. 経済学部学生ゼミナール協議会 17万円

90周年記念会員名簿会計

基 金 名	H29年4月1日	H29年度回収	H30年度回収	未回収
名簿代金未収金	250,000	175,000	60,000	15,000
広告料未収金	20,000	20,000	0	0

越嶺会 予算(平成31年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月31日)

1.一般会計

単位：円

収 入 の 部	予算額	支 出 の 部	予算額	
前 年 度 繰 越 金	25,410	越 嶺 会 基 金 へ 繰 入	0	
入 会 金 ・ 終 身 会 費	6,000,000	事 務 費	300,000	
総 会 等 懇 親 会 費	800,000	通 信 費	2,650,000	会報86、87号発行
会 報 発 行 協 力 金	1,200,000	印 刷 費	1,250,000	会報86、87号発行
利 息 収 入	15,000	手 数 料	85,000	郵便振替
名 簿 代 収 入	20,000	旅 費	120,000	支部総会出席旅費
		総 会 費	600,000	2019.5.29総会
越 嶺 会 基 金 よ り	300,000	人 件 費	1,450,000	専任事務局員給与等
		会 議 費	250,000	
		慶 弔 費	15,000	
		卒 業 祝 賀 会 経 費	1,300,000	R 2 . 3 . 2 4 A N A ホ テ ル
		学 部 助 成 費	100,000	
		同窓会連合会分担金	77,300	5万＋30年度新入会員数×100円
		支 部 助 成 金	70,000	若手会員優待分補填
		名簿代未収金会計へ	20,000	名簿会計へ振替
		予 備 費	73,110	
合 計	8,360,410	合 計	8,360,410	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額
前 年 度 繰 越 金	81,303	事 業 費	150,000
利 息 収 入	10,000	予 備 費	41,303
越嶺奨学基金より	100,000		
合 計	191,303	合 計	191,303

3.基金

基 金 名	H31年4月1日
越 嶺 会 基 金	24,100,000
越嶺奨学基金	29,300,000
合 計	53,400,000

各支部 ・ゼミOB会だより

関東越嶺会令和元年度総会

日時 令和元年九月七日(土)
十二時〜十五時

場所 アルカディア市ヶ谷
(東京都千代田区)

出席者数 四六名(内来賓五名)

司会進行を飯塚修代表幹事(学二五回)が務め、来賓紹介に続いて、まず福田哲郎会長(学十八)が開会の挨拶をしました。来賓・会員への出席御礼と、年配から若手までゆつくりと参加してもらいたいために三年目となる土曜日の昼間開催にしたこと、昨年に続きミニ講演を継続したことなどについて話しました。また、本年は八十九周年で来年は九〇周年を迎えるので、会の更なる活性化を図りたいとアピールされました。

続いて平成三〇年度活動報告・収支報告・監査報告、令和元年度事業計画・収支計画を、飯塚代表幹事、草野圭司会計(学二八)、盤若義一監事(学十八)がそれぞれ報告・提案して、全て承認されました。今回は役員の改選等はありませんでした。



来賓挨拶では、森岡裕・富山大学経済学部評議員・教授が、今春の学部卒業生の進路状況や前期後期入学者数・男女学生比率など富山大学全体や経済学部の近況について説明されました。



土屋誠・越嶺会(本部)副会長は、コンパクトシティを目指す富山市について、ライトレールが富山駅の南北一本化となることなど、富山県の近況など話をされました。

今回も昨年に続き、情報提供としてミニ講演を企画しました。講師は、前述の森岡裕先生で、テ-

マは①「富山大学経済学部の学生が企業から高い評価を受けている理由について」と②「ロシアについて(富山、北陸の視点から)」の2点でした。



1については、全国の学生に対してのプログテストによると、富山大学学生は基礎能力が高く、一方、社会人として経験して身に着く能力が平均的である。つまり、基本がしっかりしていて、卒業後の伸びしろを持っているから、企業から高い評価を受けるのではないだろうか、と説明されました。

2について、ロシアは日本人が嫌いな国と言われることもあるようだが、北陸はロシアとの輸出入の重要エリアであると説明された。

第二部の懇親会は、塚光雄副会長(学十一)の乾杯発声で開始されました。各テーブルに富山名産の鱒寿司や富山の銘酒(立山・羽根屋)が並べられ、先輩・同期・後輩の賑やかな歓談が始まりました。

東豊昭・東京富山県人会連合会事務局長から、年間の連合会行事や富山市出身の朝乃山関の応援体制などを紹介されました。

懇談の中、当会の親睦会である「五福会(ビジネス異業種交流会)」・「バーディー会(ゴルフ親睦会)」・「eワイン会(料理と酒の親睦会)」・「etモ会(若手会員親睦会)」・「関東観て歩く会(歴史に触れる散策の会)」の報告・活動計画が、各会長や世話人から紹介され、参加の呼びかけがありました。皆さん、お気軽にご参加下さい。

アトラクションのビンゴ大会では、柿本浩和会計(学三一)が中心となり、ワイワイガヤガヤ楽しく富山名産品の白エビラーメンなどを競い合いました。

懇親会も終盤に近づき林明宏副代表幹事(学二八)・富山大学体育会出身のリードで、校歌(高岡高等商業学校歌・富山大学歌)を斉唱。この校歌斉唱も恒例行事となっています。

終盤に古澤最高顧問(高商一二)がスピーチ、次回は人生一〇三年目で今さらこの会を抜けられない、ずっと会が続くことを願っている、と会場をなごませました。最後に永井雅律副会長が閉会の挨拶をして、盛窓裏にお開きとなりました。

当日の出席者は、次の通り。

来賓

森岡 裕・経済学部教授

土屋 誠・越嶺会副会長

東 豊昭・東京富山県人会

連合会 事務局長

平尾外志雄・仰岳会(工学部)

中西 憲幸・薬窓会(薬学部)

報道

高島美奈子・富山県人社

会員

高商

一二 古澤 英雄

学部

澤井 政夫、玉川 治之

木村 昌治、浦嶋 稔

本村 正忠、中島 正彦

島田 雄達、松井 脩

高土 哲夫、宮前喜久次

織田 昌外、塚 光雄

重田 直彦、保則

清水 道夫、邦雄

飯田 捷政、義一

渡邊 慶孝、本田 則

福田 哲郎、盤若 一

濱松 政俊、野村 邦雄

長谷川 健郎、緑 忠夫

今井 修一、忠夫

永井 雅律、忠夫

竹澤 喜孝、村山 修

石川 富洋、宮下 佳藏

飯塚 修、草野 圭司

林 明宏、森 秀貴

吉田 正克、秀貴

山口 哲成、秀貴

柿本 浩和、秀貴

神田 将司、秀貴

梶山 陽子、秀貴

子浦 曜子、秀貴

短大 二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

(飯塚修 記)



令和元年度関西支部総会

日時 令和元年六月二十九日(土)

十二時~十五時

場所「がんこ梅田本店」

出席者数 十九名(内来賓一名)



「語らいの総会」という趣旨で実施して五年目になり、規模は若干小ぶりですが、今回も参加者全員が主役のアットホームな総会となりました。

冒頭お酒の入る前に記念撮影を行い、次に山田常任会計(四五回)の司会で総会が始まりました。

この一年、亡くなられた越嶺会関係者のご冥福をお祈りする黙禱に続き、三宅支部長(二二回)より挨拶がありました。参加者にはレジュメが配られ、お話の内容がよく分かりました。

母校のある富山や所縁の高岡の現況について、また、ご存命の恩師の近況、経済学部教員としてご活躍の富大OG(女性)の紹介、経済学部の前身・高岡高商創立から百周年を五年後に控えてその進捗状況等が主なものでした。

次に福井学部長より、経済学部の近況報告がありました。十八歳人口の減少に伴って、定員削減に取り組まざるを得ない状況。その中で、昼間主で三倍弱、夜間で五倍を超える志願水準が続いている。入学希望者へのアピールとしては、ゼミナールの充実に取り組んでおり、講義形式によるマス化教育の補完と学生一人一人へのきめ細かなフォローを実践している。また、出口戦略(就職対策)としては、銀行員、公務員など具体的進路を想定しての指導を行っており、実績につながっているとのことでした。

MBA(経営学修士課程)創設については、コストパーフォーマンスの面からも、理工系学部とのコラボ検討の方向性でした。

二口先輩(一八回)による乾杯の音頭で、メインメニューである懇親会となり、飲み放題がスタートしました。ここ「がんこ本店」六階は六年目ですが、二十名には若干狭く、記念撮影に苦労しますが、都心(梅田)にあり、リラックasできてアットホームな雰囲気という面で、及第点となります。

アルコールが程よく回ったところで、フリースピーチが今年は座席順で一八回卒以前の先輩方のコーナーから始まりました。

今回の最長老である谷垣先輩(一三回)は、「本日この大阪で二つの重要会議が開催されている。一つは大阪G20であり、一つはこの「越嶺会」。これはG20を上回る重要な会議だ。(越嶺会Gを越える会議)」と話され、お洒落なオヤジギャグに拍手喝采でした。

前半は一八回の先輩諸氏のショートスピーチでした。この世代は「団塊の世代」で同世代が多く、生存競争も激しく苦労は多かったけど、右肩上がりの経済成長の中で明るく元気に学生生活を送り、社会では逞しく活躍されているのがよくわかりました。

学生運動でリーダーシップを発

揮して、仲間と団結して権力と戦った諸先輩の話。サラリーマン卒業後、資格取得や会社設立をしてさらに二十年現役として働くことを期して活躍をされている姿は、国会で老後年金資金不足が取りざたされている中、非常に逞しいことだなどと思います。

新田隆信先生、吉原節夫先生、古田俊吉先生、棚田良平先生等の恩師に元気を与えて頂き、ご指導頂いた話題でも盛り上がりしました。

大動脈解離を患ったが、今は孫や地域の子供たちの安全見守りのボランティアを行っている話や、富山マラソンのコース変更の話、生地五箇山の話、風の盆への旅行の話、富山や北陸の地のふるさとを懐かしむ話もありました。

この会の若手グループといっても五〇歳前後で、ご本人たちは「若手と言われるのはこの会だけ」と仰っています。しかし会社や職場の中心となり、ナイスな責任者やリーダーとなって活躍されているのがよくわかりました。

最後に、この越嶺会関西支部の運営について支部長から言及がありました。今回東京から参加頂いた長谷川先輩(一八回)によると、関東越嶺会は、一〇〇歳を超えると

大先輩がお元気で参加され、七〇代でも若手に数えられるとのことでした。まだまだ関西支部でも諸先輩に頑張ってもらわねばならないことが認識できました。

来年の総会は六月二七日(土)に決定しました。本日の参加メンバーにプラスアルファを目指し、アットホームな総会を継続することを期して谷垣先輩(一三回)の一本締めでお開きとなりました。

三宅支部長の下で協力し合って、年に一度のささやかな会であつても、老若男女を問わず越嶺会員がだれでも気軽に立ち寄り、少しでも心を癒せる場であり続けることを願います。

出席者

ご来賓	福井 修・経済学部長
十三回	谷垣 善博 花井
十八回	二口 孝志 菅原
	村田 悟 妙見
	富田大三郎 山崎
	長谷川健郎 友杉
十九回	椎原 秀雄 植村
二二回	田中 史 瀬岡
	松村 雄治 瀬岡
	三宅 博 吉原
二六回	忠 吉春 新田
二九回	脇田 守男 増田
三四回	串田 健夫 棚田



東海支部総会

三七回	藤田 幸久 竹脇
	池田 陽介 古田
四〇回	輪島 士明 大西
四四回	宮田 玲 相澤
	軍場 勝博 志津田
	山田 好孝 大坂
(佐藤)	
(副支部長	脇田守男 記)

日時 二〇一九年七月二〇日(土)
十二時〜十五時

場所 東京第一ホテル錦 十一階
アンピオ(名古屋市中区)

出席 来賓二名、会員四六名

今年の越嶺会東海支部総会は、中村昌弘支部長(二二回)体制下での二回目の総会となり、記録的な酷暑の中、第一部を川瀬幹事(二七回)の司会で幕が開き、第二部司会を服部幹事(四五回)が引き継ぐ形で進みました。

第一部は、支部長挨拶に続き、ご来賓の挨拶を頂き、記念講演を聴きました。

まずは福井修・経済学部部長様から、大学執行部の刷新、経済学部改革の取り組みについて、定員削減、ゼミナールの拡充、特別プログラムの実化、などのお話があり、卒業生の就職状況(就職率九八・七%)、入学者の状況(男女比六対四)を紹介頂きました。

次いで、越嶺会会長橋本洋二様(二一回)より越嶺会総会のご報告、創立百周年に向けての意気込みも頂戴しました。



倉地幹事

(四七回)より越嶺会東海支部平成三十年度の会計報告があり、拍

手で承認されました。

記念講演は、伊藤佑三様(十五回)より「歩く楽しみ〜五街道をゆく〜」と題して「自然と歴史と文化に係わる遊びは面白い」との考えのもと東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道、北国街道、そのほかを踏破された経験をエピソードを交えてお話しいただきました。

第二部は、参加者の中で最も卒業年次の早い学部十二回中島將雄様のご発声で乾杯・開宴しました。恒例の各自近況報告は、年齢の高いテーブルから始まりました。



尾関さん「富山と大学 今昔物語」

途中、ゴルフ部会担当の白石幹事(三六回)から、登録勧誘と来春までに第一回開催の意向の報告がありました。

そんな中、尾関幹事(三四回)から、「富山と大学 今昔物語」と題して、杉浦吉治さん(一四回)、馬場幸博さん(二七回)からの写真の提供と説明に続いて、ご自身で富山まで足を運んで撮影された最近の富山の風景や大学構内、学生街の有名どころの写真を披露して頂きました。

最後は「ふるさと」を全員で合唱し、清(きよし)顧問の挨拶、全員による記念撮影を以って今年度の東海支部総会・懇親会は幕を閉じました。

最後に、来年度の支部総会開催の予定日は二〇二〇年七月十八日(土)とし、特別講演として二七回平工信雄様にお話しいただく予定でありますことを申し添えます。

一人でも多くの方に参加して頂けるよう(特に若い世代の方々)支部長以下幹事一同取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

来賓

福井 修・経済学部部長
橋本洋二・越嶺会会長

会員(学部)

十二回 中島 將雄、浜田 光生
十四回 熊谷 隆夫、下平 邦弘

十五回 杉浦 吉治

十七回 伊藤 佑三

十八回 磯井 幹彦

二二回 稲村 敏夫、野田賢次郎
梅田 利勝、中村 昌弘
日比野 総、立松 信孝

二三回 林 文夫、清 信裕

二五回 石原 昇治

二六回 水谷 正秀

二七回 細江 正剛

二八回 川瀬 基裕、馬場 幸博

二九回 平工 信雄

三〇回 高崎真樹夫

三一回 加藤 隆久、長江 正竹

三二回 中島 弘人、平松 秀康

三三回 伊藤 修、置田 正浩

三四回 高見 功

三六回 田邊 孝平、尾関 桂子

三八回 白石 憲生、中島 英登

三九回 豊本 裕司、犬飼 貢司

四〇回 石田 尚

四二回 南 浩之

四四回 服部 智政

四六回 倉地 博之、近澤 保

四八回 奥村 慎

五〇回 蜂谷 将太、村瀬 正樹

五二回 伊藤 正樹

五四回 田口 寛道

五八回 六一回

(幹事 置田正浩(学部三二回)記)

越嶺会石川支部講演会・総会

日時：令和元年七月二十六日(金)

一八時三〇分～二一時

場所：金沢ニューグランドホテル

出席者 四三名

石川支部では、経済学部(旧高岡高商)創立八〇周年を機に支部総会を再開し、以降毎年開催し、今年は一五回目となりました。

冒頭、蘭守支部長から挨拶をして開会しました。

また今年も中尾哲雄越嶺会最高顧問をお招きしご講演をお願いし



ました。

北陸地方は統計的には住みやすさ全国一番であるが、豊かな地域とは、豊かな心を持つている人がたくさん住んでいる地域のことであり、越嶺会もそうした心を持つ方がたくさんいる会にしたいとお話をいただきました。

続く総会では、山瀬副会長、福井経済学部長からご挨拶をいただきました。

山瀬副会長からはご自身が経営されているコンサルタント会社のご紹介、学部長からはゼミナールの拡充や少人数の指導体制のお話を頂戴しました。

その後、十一回の宮崎康恵様に乾杯発声のご挨拶をいただきました。

また中山副支部長からは退任のご挨拶があり、後任は四一回の西田恵介氏に決まりました。事務局長の後任は来年の総会までに決めることで皆様の承認をいただきました。

懇親会は大変和やかな雰囲気の中で行われ、皆さん時間の経つのも忘れ、昔話で大いに盛り上がりしました。

中締めご発声は、里見副支部長にお願ひし、来年の参加者は今年より多くなるよう決意をお示しいただきました。

石川支部総会が今後益々盛」と

なりますよう会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

出席者

来賓・講演者

中尾哲雄 越嶺会本部最高顧問

来賓 山瀬 孝

来賓 福井 修 越嶺会本部副会長

学部長

七回 中西 一順

十一回 宮崎 康恵、藤田 長悦

十二回 関 博剛

十三回 宮森 紀好

十四回 岡田 一紀、岡田 茂

十七回 清水 和雄

十九回 福田 幸進

二〇回 一塚 勇

二三回 中山 良一 副支部長

二四回 蘭守 貴弘 支部長

二六回 堀田 正之

二七回 伊田 知弘

二九回 福井 幸博

三〇回 北山 光宏

三一回 里見浩次郎 副支部長

三七回 関戸 浩一、中宮 文哉

三八回 寺前 奈美

三九回 古谷 健、堀 琢也

四〇回 今井 信也

田村 創 事務局次長

安嶋 是晴、村本 満

南 和花、佐渡 文葉

廣田 美喜

四一回 杉原 秀俊、本田 泰郎

西田 恵介・事務局長

四四回 村木 力

四八回 山田 康浩

五〇回 中尾 聡恵

五三回 石山 陽介、濱頭 孝之

松村 昂星

五七回 高田 雄章

五九回 坂北 尚斗

(事務局長 西田恵介(四一回)記)

第十八回越嶺会福井支部総会



日時：二〇一九年十月二六日(土)

十八時～二〇時三〇分

場所：チャイナテール

福井市・ホテルフジタ5階

福井修経済学部長・松原隆光越嶺会副会長をはじめ、総勢三〇名が参加し、開催された。

総会は、舟木会長の挨拶の後、松原越嶺会副会長や福井経済学部長から挨拶を頂いた。特に、福井学部長からは昨今の経済学部での取組状況や変革内容、卒業生の進路など様々な内容について説明を受けた。具体的な内容については、①学部の定数削減(昼間主四十、夜間主三十)、②切れ目ないゼミナールでの学習、③専門的な学習をしたい学生の為のコース設定が可能となった(社会連携科目群の拡充)などが挙げられる。また、卒業生の進路については公務員や民間企業への就職をする学生が多いことなどが説明された。

その後、記念撮影し、和気藹々としたとした雰囲気懇親会へと移った。

懇親会では、参加者による自己紹介タイムや富山大学経済学部に関するクイズ大会などが行われた。参加者には、二〇～四〇代の若い世代もあり、自身のキャリアや業務内容、趣味など様々な内容が伝えられると他の参加者から質問や

ツッコミが入るなど笑いが起きる場面も見られた。

また、思い出クイズでは経済学部の歴史や最近の富山大学の情報等についての質問があり、参加者間でクイズに関する情報共有や質問などが飛び交い、大いに盛り上



富山大学・越嶺会福井支部
富山大学経済学部(毎年10月に同窓会開催)で、今年初のゴルフコンペを行いました。①全席代金(1000円)と②新入生(1000円)の合計2000円を、③紅を還元した額です。今後は10月26日(土)夜に開催します。ぜひ申し込みを。 福井市北西ツビル 林之(44)

がった。

最後は、平野副会長による一本締めで賑やかな懇親会を締めくくった。

支部総会に先立ちゴルフ大会を開き地元の新聞に寄稿した。

来賓 福井修・経済学部長
来賓 松原隆光・越嶺会副会長
十五回 重久 修造
十六回 金森 光治



土屋会長と優勝の木村昌幸さん

第二九回越嶺会グリーン会 ゴルフコンペを開催

二〇回	舟木 幸雄	米林 輝男
二一回	白崎 章	
二六回	小西 郁生	川口謙一郎
二七回	戸倉 克己	
二九回	山田耕太郎	平野 恵次
三〇回	中嶋 浩顕	
三二回	大越 英司	
三五回	乙部 勇樹	
三六回	津田貴一郎	
四四回	岸本 英樹	多橋 哲郎
四五回	林 智之	森 光司
四六回	中道 正康	
五一回	馬場 俊和	
五四回	坂下 佳弘	鈴木 駿平
五七回	河上 佳史	酒井 康輔
六一回	山本 大貴	
六二回	吉田 涼	
六五回	山本 龍角	(記 山本龍角)

令和元年八月二四日(土)太閤山カントリークラブ(富山県射水市平野一)にて開催しました。お盆に台風十号が西日本を直撃し、開催が危ぶまれましたが、当日は参加者三七名が親睦を図りながら、晩夏の爽やかな好天の下でプレーを愉しみました。

表彰式では、越嶺会グリーン会土屋会長(三四回)の挨拶に続き、橋本越嶺会会長(二一回)の発声で乾杯しました。各順位、特別賞の表彰を行なった後、最高顧問中尾先輩(八回)から大学の近況報告並びに今回のゴルフコンペの講評をいただいた閉会しました。優勝は、OUT41、IN36、グロス77、NET71.0でプレーした木村昌幸さん(三一回)でした。同時にベストグロス賞も受賞された。

なお、オリンピックイヤーとなる来年二〇二〇年は八月二二日(土)に同クラブにて開催します。今年以上に盛会に開催したく思いますので、お一人でも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

参加者
七回 塚田 隆
八回 中尾 哲雄
一六回 針山 健二
二〇回 小野 崇、大橋 正幸

二九回	鶴瀬	初弘、古川	均
二六回	堀田	正之、三箇	洋二
二一回	小竹	茂樹、橋本	周治
二〇回	成田	和生、福岡	均
三〇回	伊野	伸英、大野	公久
三一回	桑原	幹也、中田	和夫
三四回	土屋	昌幸、檜山	和良
三五回	丸杉	輝、森山	真人
三六回	岡本	武、椿	直之
三七回	杉本	正人、深田	清就
四〇回	西本	定代史	
四一回	赤川	浩一、長谷川	正人
四三回	金瀬	正志	
四四回	手崎	裕之	
五四回	松原	隆光	
短			
一七回	木勢	博文	
院九回	福井	幸博	
(幹事・金瀬正志(四一回)記)			

石川支部第十二回オープン 親睦ゴルフコンペ

二〇一九年九月二十八日(土)
千羽平ゴルフクラブ

昨年は最高顧問の中尾さんご夫妻が百六十歳になられた記念コンペということもあって賑やかしかつたのですが、今年は新規参加者



もなく四組十二人と大幅の減。しかも中尾さんが怪我で急な不参加

で朝から大慌て。スタート時間を遅らせて参加し易くした配慮もむなしく幹事落ち込んでいます。

天気予報は芳しくなかったのですが大した雨にも会わず、成績に影響を与えることはなかったようです。それぞれの組では和気あいあいと親睦が図られたものと思います。

オープンという冠のとおり不甲斐ない石川支部をしりめに、招待選手ならぬ富山の越嶺会本部橋本会長・松原副会長お二人でのワン・ツーフイニッシュとなりました。昨年全国大学OB対抗で団体優勝をされた松原さんは、今年も翌日にそのコンペに出場、見事グロスで二年連続団体優勝でした。

昨年、B Mの方に奮起を促すため幹事賞としてボールダーズを進呈したのですが、今年は五位という大躍進で、平均スコアも変わらなかったほどに底上げしていただきました。今年も同じ思いでB Mの方に幹事賞を差し上げました。それは、石川支部の全責任を負うべき副支部長としての中山さんでした。反省しきりに下座の出入口での閉会のご挨拶となりました。

次回は中尾さんがご参加される確約をもつて開催することとしました。中尾さんあつてのコンペです。ぜひ皆様にも開催に向けての機運の高まりをお願いするもので

あります。

上位成績は左記の通りです。

優勝 橋本洋二(二一回)
2位 松原隆光(五四回)
(ベスグロ)

3位 太田博之(二十回)
参加者

十四回 岡田 茂
十七回 清水 和雄
十九回 早川 賢治
二十回 太田 博之、小野 崇
二一回 橋本 洋二
二二回 中山 良一
二八回 河原 靖、山本 英博
三九回 泉屋 圭三
四一回 本田 泰郎
五四回 松原 隆光
幹事：太田 博之(二〇回)
(早川賢治(十九回)記)

寄贈図書紹介・御礼

藤川勝喜様(高商十七回)から『激動の青春学窓から短剣へ』第十二期海軍短期現役主計科士官勝関会手記編集委員会編。勝関会手記刊行会、昭五七年十一月発刊。A五判 八八七頁・図版一八頁 高岡高商から入学した十三名余の名簿と藤川様の寄稿が掲載されています。

吉原節夫先生の米寿を祝う会

去る九月二十九日(日) ホテルニ
ユーオータニ高岡にて、吉原節夫
先生ご夫妻をお招きし米寿をお祝
いする会を開いた。



吉原ゼミOBのほか先生とご縁
の深い越嶺会員の参加があり、県
内外から三二名の出席とともに、
出席できないOBを含め三七名か
ら祝辞が寄せられた。

ゼミ一回生の田畑仁氏(学部十
二回)の乾杯の発声に始まり、佐
伯陽一・美恵子夫妻(二四回)か
らの花束贈呈、田中克志元教授の
ご祝辞等の後、吉原先生からご挨拶
をいただいた。

先生は、本日皆さんとお会いし
て奥様共々嬉しい気持ちでいっば
いで舞い上がっている。こうして
元気に皆さんと会えることが一番
の喜びであると言われた。

また、これまで民法について書
いてきた沢山のものや写真等を整理
しているが、つい思い出に浸っ
てしまい、なかなか進まないでい
る。幸い元気であるから、当面は
書類整理を続けていきたいと近況
を述べられた。

お祝いの会は、先生ご夫妻とお
話する者、同期や先輩後輩で歓
談するなど終始盛り上がりのまま
進んだ。鳥居由美子越嶺会副会長
(二二回)の挨拶で締めとなった
が、次回は卒寿のお祝いをするこ
とが発議され、先生の賛同も得て
二年後元気に再会することを約し
散会となった。

爽やかや笑みを湛へて米寿の師

吉原ゼミOB会では、吉原先生卒
寿祝いも、越嶺会報にて会員諸氏
のご参加を募りますので、よろし
くお願い申し上げます。

出席者

吉原節夫先生ご夫妻

田中克志教授

学部

五回 澤井 政夫

九回 山田 眞良

十二回 田畑 仁、永井喜一郎

十三回 長治 重雄

十四回 大野 昭二

十六回 阿原 稔、伊藤 實

十八回 春日 貞夫

二十回 小栗 清光

二二回 釜谷 春雄、上田 敏裕

二四回 米原 俊孝、高木 正二

二六回 堀内 悟、鳥居由美子

二八回 清水 雄一、三宅 博

三〇回 佐伯 陽一、佐伯美恵子

三二回 中程 雅昭

三四回 露木 正樹

三六回 石井 幸治

三八回 田中 新助

三九回 尾関 佳子、木村 温子

四〇回 萩原 博志、丸杉 輝

四二回 竹田 達矢

(吉原ゼミOB会世話人
釜谷春雄 記)



元日本陸軍兵士、藤田松吉さん(故人)が自費でラン
ンブーンの自宅横に建てた慰霊塔「噫忠烈戦没
勇士の慰霊塔」を参拜

澤井政夫様(学部五回)から
「国境の地・メーホンソーンへの
旅」日タイ・ビジネスフォーラム
観光委員会 二〇一九年八月発行
A5判四八頁
五〇年前、アジアハイウェイ建
設の澤井さんを、タイ人と日本人
との間を取り持つ現場監督として
助けた元日本兵・藤田松吉さんが
その後三十年にわたり収集した遺
骨千八百余体を、自費で建立した
「噫忠烈戦没勇士の慰霊塔」に納
めている。
澤井さんは、「慰霊塔」だけでは
藤田さんの思いが伝わらないと、
故藤田松吉さんの事蹟の顕彰碑を
「慰霊塔」の側面に、同窓の四津井
宏至さん(学部十四回)らの協力
を得て設置した。
なお、藤田さんを主人公に今村
昌平監督が一九七一年にTVドキ
ュメンタリー大賞受賞作品「未帰
還兵を追って」を制作している。

山口素光先生を囲む会

日時 二〇一九年十月

十六・十七日(水・木)

会場 KKR京都くに荘

二〇一〇年宇奈月、二〇一二年五箇山と開催してきた。今回は先生お住まいの岡山と富山の間地点



ということ、京都で開催した。先生のご尽力で「くに荘」に部屋を確保できた。平日とはいえ秋の京都で開催できたことをありがたく思う。

くに荘迎えのバスに乗ったのは二名だけで、皆それぞれに事前に美術展など観光してきていた。

六時から宴会。堀田正之氏が、前回二回とも仕事の都合で出席できず今回こそはと調整して出てきた。お元氣な先生と話できることはこの上なく嬉しいことであると開会挨拶した。

次いで、先生から、近況報告を兼ねて、最近思うことの様々を〇

B生の顔を見ながら話された。そのあと、各自が自己紹介、近況報告、懇談となり、九時には幹事室に移って懇談が続いた。仕事で二名が帰り、先生にもかなり遅くまで付き合ってもらった。

翌朝は京都迎賓館観光。内閣府の係員が丁寧に対応してくれた。

平成十七年開館の迎賓施設。日本建築の伝統の粋と美を現代の建築技術と融合させる「現代和風」の創造を目指して設計された。東京の迎賓館赤坂離宮とともに国公賓接遇の場の役割を果たしているとのことである。後日十月二日即位の礼があり、饗宴をニュースでみたが、このような場所だったかと、タイミングのいいときに見学できたことと喜んでいいる。この写真は「夕映の間」の「比叡月映」。

ゆっくり約一時間見学、くに荘に戻って昼食後、解散した。

出席者

山口素光先生

元・岡山大 狐塚和江

十九回 木村 実

二十回 浅生 正明夫妻、

遠田 正博

二一回 白崎 章、米田 憲雄

二四回 川合 剛

二五回 荒井 清

二六回 堀田 正之

二一回 米原 俊孝

原稿募集

越嶺会報は、五月と十二月に発行しています。

三月末、十月末までにお送りいただければ夫々の号に掲載できます。

遅れましたら次号になることをご了解願います。

記

締切 三月末、十月末
字数(同期会等の場合)

千字程度+参加者名簿
+写真

郵便、FAX、メールでお送りください。

速くて便利はメールですが、ご持参いただいても結構です。

留守のときもあり電話等ご一報いただければ有り難いです。

卒業論文を

お返しします

返却ご希望の方は、卒業年とお名前を越嶺会事務局までお知らせください(メール、Fax、手紙葉書、電話など)。

郵送料はご負担ください。受け取られた後、受領書とともに切手にてお送りください。

なお、短大の方はありません。

ご冥福を祈ります

追悼 高坂正明元副会長



やさしかった高坂先輩

中尾哲雄

越嶺会の先輩、そして五十年以上にわたっておつきあいいただいた親友 高坂正明氏が逝ってしま

った。
よくゴルフを一緒にしたが、四十年で百五十回をはるかに超えている。青年会議所ではいつも同じ委員会でも活動し家族ぐるみでよく旅行にも出かけた。そして、よく一緒に飲んだ。

毎朝妻と一時間ほど歩いてしたが、いつも高坂さんの家の前を通り、時々、朝の会話を交わした。

高坂さんはとにかく真面目な人だった。そしてやさしく、多くの人に愛され、好かれていた。

三十年ほど前のこと高坂さんが大学の教授と議論というより口論になったことがあった。そんな高坂さんを見たのは一度だけである。その時は私も高坂さんに同感だったが、とにかく正義感だった。

訃報はデュッセルドルフに届いた。お通夜にもご葬儀にも出られなかったが、ただただご冥福を祈るばかりである。

君逝くを知るデュッセルに秋の風

哲山

ご尊父様のご逝去を悼み
謹んでお悔やみ申し上げます。

なかおてつお
越嶺会最高顧問

貴方のお父さんは三嶺会の先頭に立ってよく会をまとめていただきました。ここに改めて深く御礼申し上げます。

三嶺会 夏の集い
2019年8月13日 富山第一ホテル 松川

三嶺会世話人 紺谷益三

人生一〇年とはい
え残された
我々ももう
八十七歳。
早晩三途の
川を渡る運
命にありま
す。彼岸で
の同期との
再会を楽し
みにしてい
ます。

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
高商17回	今泉 正孝	平 16.11	学部9回	角間 忠雄	平 31.2.13
	篠田 博	平 27.5	学部10回	貫田 樹男	平 30.12.23
	松村 健次			吉江 孝夫	令 1.6.26
	水野 興一	平 16.11	学部13回	窪田 久信	平 30.7.14
高商18回	太田 暁	平 30.11.13	学部14回	原 義雄	令 1.5.16
	菅谷 昌典	平 31.4.18	学部15回	佐藤 正光	平 31.3
高商19回	平栗 昇	令 1.9.16	学部16回	谷口 一夫	令 1.6.15
学部1回	奥野 泰之	平 30.3.8	学部28回	堀尾 昌之	平 29.4.1
学部2回	澤田耕太郎	平 30.7.23	学部34回	松平 茂範	平 29.11.26
学部3回	家城 亜告	令 1.9.30	学部40回	江戸 力	平 31.1.22
	高坂 正明	令 1.9.16	学部42回	河添 弘	平 30.11.1
学部4回	杉林 正明	平 30.1.9	短大1回	浅野 紀男	平 31.2.11
学部5回	手塚 啓詞	平 31.4.26		古國府貞雄	平 29.1.9
学部6回	吉田 孝一	平 29.9.13	短大10回	松井 良憲	平 31.3
学部8回	仙田比左夫	令 1.6.15			

第十八回全国大学OB親善
ゴルフ大会富山大学チーム、グロスで
二年連続優勝。

個人でもグロスで優勝



ゴルフ会

二〇一九年五月二五日(土)

会場：小杉カントリークラブ

大会長：中尾哲雄・

初代同窓会連合会長

幹事同窓会：学窓会

世話人代表：西川友之氏

個人優勝・寺林 敏(越嶺会)

二位 北林和生(学窓会)

三位 島崎修一(仰岳会)

団体優勝・学窓会B

二位・薬窓会B

三位・越嶺会A

参加者数 越嶺会一〇名

学窓会 八名

理 学 二名

仰岳会 七名

薬窓会 六名

事務局 三名

合計 三六名

二〇一九年九月二九日(日)呉
羽カントリークラブで、十二大学
十二チーム四六名が参加した。
団体の部で、木村昌幸さん(三
一回)、松原隆光さん(五四回)、
寺松信宏さん(三二回)、畠山昌
輝さん(三一回)の富山大学チー
ムは、グロスで二年連続優勝した。
個人の部では、木村さんが日本海
コースで優勝した。

表彰式では、二口洋・事業局長
(三八回)はじめ北日本放送関係
者からトロフィなどを贈った。
北日本放送主催・北日本新聞共催。

同窓会連合会の行事報告

令和元年度 総 会

二〇一九年七月一八日(木)
富山電気ビル

寺林・同窓会連合会長が開会挨拶し、恒例で会長を議長に議事を進めた。事業報告、決算、監査報告が異議無く了承され、新役員紹介では、四月に学長就任の齊藤滋名誉会長等の紹介があった。

第二部の記念講演では、工学部卒業の玉生豊氏(元コーセル常勤監査役)の「仕事を通して学んだこと」と題する話を聴いた。

大ホールに移り第三部・懇親会となった。齊藤滋名誉会長(富山大学学長)が祝辞を述べた。文科省の評価に、学生からの評価、三ヶ月以上留学の学生数などが入る



こととなる等、様変わりする大学の環境について詳しく語り、ご協力をお願いしたいと語られた。
各同窓会スピーチでは、橋本会長が九〇周年で学部留学助成の寄付金を渡している、学部の発展を願って止まない旨の話をした。

出席者
十八回 遠藤 敏之
二十回 寺林 敏
二一回 釜谷 春雄、澤合 文雄
二二回 橋本 洋二、米原 俊孝
鳥居由美子

二八回	碓井 光一
二九回	鶴瀬 初弘、古川 均
三〇回	寺西 裕行
三二回	竹野 博和
三四回	土屋 誠
三八回	大波加 肇、殿村 幸子
四〇回	二口 洋
四三回	赤川 浩一
四九回	浜畑 早苗
六二回	沖 よし子
短	井林 純
二回	稲垣 喜夫
二四回	山崎 宗良
二〇回	荻布 彦

第十二回ホームカミングデー

日時 二〇一九年十月十九日(土)

午後一時～四時

会場 学生会館、理学部校舎

午後一時から開会式があった。それに先立ち、十二時三十分から図書館で「富山大学展」の説明会があった。2頁の「富山大学展」の項をお読みください。

今年も天候はあいにくの雨、しかも雷付きであったが、五十名余の同窓生・大学関係者が集まった。

開会式では四月に就任した斎藤

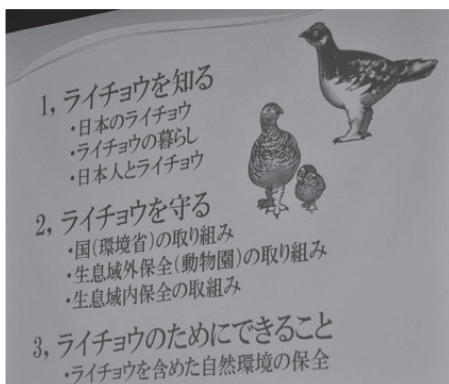
滋学長が、大学は厳しい状況にある。文部科学省に新しい提案をしても、財源・方法は各大学で工夫して成果を出さないというだけである、同窓会連合会への期待を示された。関連して富山大学の財政状況について、大学財務部が収入・支出、平成三〇年度に整備した都市デザイン学部の新校舎建設や「葉のシリコンバレー」の取り組みについて説明があった。



次いで、富山大学基金で、台湾に四か月留学した経済学部四年の富永亜沙子さんとカナダに七か月留学した人間発達学部四年生が留学経験を語った。

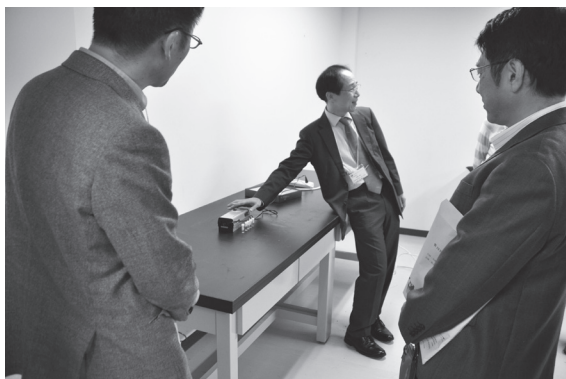
そのあと、記念講演として富山市ファミリーパーク公社園長・石原祐司氏(理学部生物学科卒)が「神の鳥、ニホンライチョウの保護増殖・動物園の挑戦」と題して話された。「この写真の中に雷鳥がいますが判りますか」とクイ

ズのように写真を出されたが判らなかった。二段階三段階と大きくしてもらってようやくわかった。講演会の後は施設見学として理学部研究室を見て回った。化学科も今は分子のレベルで考える、



薬学や医学と違いその基礎の部分を考えているので、企業に入っても応用が利くと言われていると理学部化学科、生物学科の立場・強みを強調された。

最後の懇談会は落ち着いた雰囲気。生協食堂の二階で開かれた。一九七四年経済学部五十周年に高商七回の岡田正さんが寄付された図書館前の櫟の木が窓いっぱい枝を伸ばしているのが、地上からより大きく見えた。



会員ひろば

富山県における

グローバル人材の必要性

グローバル人材育成に適した制度・ワーキングホリデーの紹介

タイ・チェンマイをはじめ国際的な友好親善に努めておられる澤井政夫さん(学部五回)の紹介により掲載するものです。事務局

急増する訪日外国人に対応できない日本人。ここ近年、訪日外国人数が急増し、今後も増加が見込まれます。また、観光のみならず、就労する外国人も増加傾向にあります。これまで都市部に集中していましたが、SNSでの情報収集、LCCや新幹線による利便性の向上、各自自治体の積極的な訪日外国人観光客誘致、外国人研修生・実習生を派遣する組合の増加により地方へも流れています。

都市部だけじゃない、地方にも増加する外国人。富山県の未来を考えると、増え続ける訪日観光客に対して、日本の「おもてなし」を提供しコミュニケーションを取れる富山県民の育成は大変重要です。特に観光客の消費喚起を図り商品

購買につなげるためにはコミュニケーション能力が重要とされています。富山県では、建設業、製造業に従事する外国人労働者の増加もあり、雇用する外国人とのコミュニケーション、管理業務という面においてもグローバル人材の必要性が高まっています。

グローバル人材育成に適したワーキングホリデー制度を紹介します。外務省のもと二国・地域間の取決め等に基づき、各々が、相手国・地域の青少年に対し、休暇目的の入国及び滞在期間中における旅行・滞在資金を補うための付随的な就労を認める制度です。各々の国・地域が、その文化や一般的な生活様式を理解する機会を相手国・地域の青少年に対して提供し、二国・地域間の相互理解を深めることを趣旨とします。

我が国は、一九八〇年にオーストラリアとの間でこの制度を開始したのを皮切りに、二三か国・地域との間で導入しています※。我が国のワーキング・ホリデー査証を取得する相手国・地域の青少年は、合計で年間約一万五千人に上っています。なお、このビザを申請できるのは十八歳以上三十歳以下(国によって三十歳未満)です。通常、海外で働く場合は就労ビザ、就学をする場合には学生ビザ、

観光をするには観光ビザが必要とされていますが、このワーキングホリデービザは一部制限があるものの「就労、就学、観光」のすべてをひとつのビザでOKというものです。いわゆる若者が海外で挑戦、成長するための要素をすべて含んだ制度と言えるでしょう。

現地にて働くことができるという一番の利点が含まれていることで、通常の正規留学と比較し費用面においても負担が小さいというのも、海外を目指す若者や親にとって検討しやすいと思います。また最近では協定国が増加したことにより企業研修として活用するケースもあり経済界でも注目を集めています。



海外の学校で学び語学力を身に付け、就労することでのコミュニケーション能力を高め、海外生活や観光などから外国人への積極性も養うことができます。富山県におけるグローバル人材育成方

法の一つとして考えられるのではないのでしょうか。

このワーキングホリデー制度によりグローバル人材として成長した若者たちが英語やスペイン語、中国語などを使って、外国人に対応できるようになったとき、一層多くの訪日外国人観光客受け入れを可能とし、富山のものづくり、富山産の食品、商品・体験・サービスなどの海外普及なども期待できます。結果、富山県の税収は増加し、働く人口と共に子供たちも増えることと想像できます。

※協定国は二三ヶ国・地域

(二〇一九年四月一日現在)

豪州、ニュージーランド、カナダ、韓国、フランス、独国、英国、アイルランド、デンマーク、台湾、香港、ノルウェー、ポルトガル、ポーランド、スロバキア、オーストリア、ハンガリー、スペイン、アルゼンチン、チリ、アイスランド、チェコ、リトアニア(さらに八月二十六日スエーデンと協定署名)

ワーキングホリデー制度に関するお問い合わせ・・・

一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会 富山オフィス
ティエヌケー(株)内 田中・金谷
電話〇七六四八二四一五〇

富山大学基金便り

第14号 2019.10.1 発行

§ 富山大学基金の近況

富山大学基金は平成24年4月に設置され、同年8月から募金活動を始め、この約7年間に学内の教職員はもとより、企業法人の皆様方、名誉教授の先生方、事務職員のOB・OGの皆様方並びに同窓会連合会のご協力の下、各学部の同窓会の皆様方のご理解とご協力により、約1億9千6百万円のご支援を賜りました。

皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げますとともに、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎「富山大学基金」寄附受入状況（令和元年9月末現在）

区 分	件 数	金 額 (円)	備 考
役員・教職員	800	17,766,000	
元教職員	123	8,043,390	
在 学 生	41	555,000	
同 窓 会	1,338	30,787,580	
保 護 者	104	1,255,000	
法 人 等	127	111,819,156	
一 般	14	23,290,000	
計	2,547	196,321,126	

富山大学基金の募集案内に当たり、富山大学同窓会連合会及び各学部同窓会のご協力とご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

§ 富山大学基金の活動

皆様方からご寄附いただいた基金により、平成26年度から平成30年度の間、学生海外留学支援として28名の学生に対して支援を行い、学生の留学生生活をより充実したものにすることができました。

さらに前号でご報告しましたとおり、平成30年度富山大学グローバル研修として海外へ若手事務職員を3人派遣し、研修成果が期待できるものとなりました。

今年度も同様の事業を計画しているほか、基金による活動を今後さらに充実していきたいと考えております。

(富山大学基金学生海外留学支援プログラム奨学金受給学生からのメッセージ)



芸術文化学部 4年 塩谷 夏海
留学機関：カペラゴードン美術工芸学校（スウェーデン）
留学期間：平成30年1月～令和元年6月

この度は、富山大学基金留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただき誠にありがとうございました。

私は木工についてより深く学ぶため、スウェーデンにあるカペラゴードンという学校に留学しました。当初は半年間の予定でしたが、カペラでの日々は心惹かれる事や気づかされる事が尽きず、結果1年半に及ぶ留学となりました。

日本とはまた違う木工技術を学び、名家具たちが生まれる基盤となったライフスタイルを体感し、それぞれのカラーを持ったクラスの皆に日々触発され、ものづくりに明け暮れた日々を過ごし…。留学を通して得た事は無数にありここでは書き尽くせませんが、自分の知らなかった世界の側に立つことで自分がこれまで居た場所を客観的に見つめられるようになった事は大きな収穫でした。

たくさんの人の優しさに支えられて過ごした1年半は、私にとって本当にかげがえのない時間となりました。この留学で得たものを、これから作品を通じて還元していきたいと思えます。

◎ 基金事務室の場所は、「学生支援・地域連携交流プラザ」の2階にあります。

何かお問い合わせがある場合は、下記の富山大学基金事務室にご照会願います。

ご寄附いただいた皆様方で開示をご承諾いただいた皆様は、既にWebに掲載しております。誠にありがとうございます。

(お問い合わせ先)

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学基金事務室
Tel : 076-445-6178、6179 Fax : 076-445-6014
E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp

住所等変更通知のお願い

(FAX : 076-445-6419)

住所や姓名等に変更のあった方は、FAX でお知らせ下さい。(メール・葉書も可です)

		卒回	回	年	月卒
お名前		(旧姓)			
新住所 〒□□□-□□□□					
新電話 ()-()-() 新FAX ()-()-()					
差しつかえなければメールアドレス					
勤務先					
住所 〒□□□-□□□□					
電話 ()-()-() FAX ()-()-()					

越 嶺 会

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL (076) 445-6411 (ダイヤルイン)

FAX (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ : <http://www3.u-toyama.ac.jp/etsurei>

e-mail etsurei@eco.u-toyama.ac.jp